

●シリーズ●

埼玉から世界へ！ -その7-

日本貿易振興機構（ジェトロ）埼玉貿易情報センター

埼玉貿易情報センターは、埼玉県内事業者向けに海外ビジネスの情報提供、貿易や投資の実務に関する相談に対して、自治体、金融機関、商工会議所などと連携して各種支援を行っています。今回は9月に開催した輸出商談会について紹介します。



海外への販路開拓に関心を持つ県内食品事業者にとって、輸出は新たな市場を開拓する機会である一方、海外の商習慣や規制、物流、現地での販路確保など、様々なハードルがあります。特に輸出未経験の企業では、「海外に売りたい」という思いがあっても、何から始めればよいのか分からないというケースも少なくありません。

ジェトロ埼玉と武蔵野銀行は、県内食品事業者の海外展開を後押しする取り組みとして、9月8日に「国内商社食品輸出商談会 in 埼玉」を開催しました。本商談会では、輸出のノウハウや海外販路を有する国内輸出商社8社と、埼玉県内に事業所を置く食品事業者22社をマッチングし、計45件の商談を実施しました。商社、食品事業者に希望商材や商談希望企業を事前にヒアリングし、双方の希望を踏まえてマッチングを行いました。

商談会に先立つ6月には、初心者向けの「食品輸出スキルセミナー」を開催しました。また、輸出未経験の企業には、ジェトロ農林水産食品部担当者とのオンライン面談を実施し、商談資料の作成や商談の進め方をアドバイスするなど、初めての輸出商談に向けたサポートも行いました。



食品輸出商談会の様子



商談の様子

本商談会の特徴は、海外バイヤーとの直接商談ではなく国内の輸出商社を通じて、国内にしながら海外販路開拓ができる点です。輸出手続きや海外販路開拓のノウハウを持つ輸出商社とつながることで、輸出未経験の企業にとっても、海外市場に挑戦する機会となります。

実際に、今回初めて輸出に乗り出す事業者から「以前から海外展開に関心があったので、これを機に輸出に積極的に取り組んでいきたい」といった声も寄せられ、海外ビジネスへの意欲がうかがえました。また、成約が見込まれる商談もあり、現地での販売につながる動きも生まれました。既に輸出に取り組んでいる企業にとっても、新たな販路の開拓や、商社から商品への意見やアドバイスを得られる有意義な機会となりました。

本商談会翌日にはジェトロ福島と東邦銀行共催の食品輸出商談会が開催され、埼玉の商談会に参加した輸出商社の多くが引き続き参加しました。ジェトロと地域金融機関のネットワークを生かし、地域を越えて商談機会を広げることができました。

ジェトロ埼玉では、2月初旬に海外バイヤーを招へいた食品輸出商談会を開催予定です。海外への販路開拓にご興味のある方は、ぜひお申込みください。

ジェトロ埼玉

農林水産物
食品の輸出支援
ポータル